平成25年９月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年５月１日

上 場 会 社 名	株式会社コロプラ	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	3668	URL	http://colopl.co.jp
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)馬場　功淳	
問合せ先責任者	(役職名)取締役管理部長	(氏名)土屋　雅彦	(TEL)03(6721)7770
四半期報告書提出予定日	平成25年５月８日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年９月期第２四半期の業績（平成24年10月１日～平成25年３月31日）

（１）経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年９月期第２四半期	5,628	―	1,649	―	1,679	―	956	―
24年９月期第２四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
25年９月期第２四半期	126　14	121　63
24年９月期第２四半期	―	―

（注）１．当社は第２四半期の業績開示を平成25年９月期より行っているため、平成24年９月期第２四半期の記載及び平成25年９月期第２四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
２．当社は平成24年12月13日に東京証券取引所マザーズに上場したため、平成25年９月期第２四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益は、新規上場日から平成25年９月期第２四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年９月期第２四半期	8,111	5,675	70.0
24年９月期	4,567	2,567	56.2

（参考）　自己資本　　25年９月期第２四半期　5,675百万円　　24年９月期　2,567百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
24年９月期	―	0　00	―	0　00	0　00
25年９月期	―	0　00			
25年９月期(予想)			―	―	―

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

３．平成25年９月期の業績予想（平成24年10月１日～平成25年９月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	12,000	136.6	3,160	110.8	3,200	113.4	1,760	126.1	45　50

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有
当社は、平成25年５月１日開催の取締役会において、平成25年５月31日を基準日とする普通株式１株につき５株の割合をもって株式分割を行うことを決議いたしました。なお、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して、「１株当たり当期純利益」を算定しております。

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は、添付資料P. ４「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（注）第１四半期会計期間より減価償却の方法を変更しており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. ４「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年９月期２Ｑ	7,892,100株	24年９月期	7,112,100株
②　期末自己株式数	25年９月期２Ｑ	―株	24年９月期	―株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年９月期２Ｑ	7,579,243株	24年９月期２Ｑ	―株

（注）当社は第２四半期の業績開示を平成25年９月期より行っているため、平成24年９月期第２四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）財政状態に関する定性的情報 ……2
（３）業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．四半期財務諸表 ……5
（１）四半期貸借対照表 ……5
（２）四半期損益計算書 ……6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 ……7
（４）継続企業の前提に関する注記 ……8
（５）セグメント情報等 ……8
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……8
（７）重要な後発事象 ……9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間における我が国経済は、政権交代後の経済政策への期待感による円高の是正や、株価回復の兆しが見られるものの、海外経済の減退が続き個人消費を含めた停滞感など依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、依然としてスマートフォンの普及は順調に推移しており、当社が属する携帯端末ゲーム業界では多くの企業がスマートフォン向けアプリ開発に注力し、日々様々なアプリがリリースされております。

当社におきましても、着実にゲームアプリを開発・リリースし続けております。スマートフォン専用のライトゲームアプリブランドである「Kuma　the　Bear（クマ・ザ・ベア）」からは平成25年１月に「ねらって☆マジカル！」「クマ、世界を釣る！」、２月に「ボウリングゾンビ！」、３月に「はらぺこピープル！」「パズルdeバトル！」を相次いでリリースいたしました。また、オンライン型ゲームアプリでは「クイズRPG魔法使いと黒猫のウィズ」を３月にリリースし、全国のプレイヤーとの協力・対戦が楽しめるクイズ＆カードバトルRPGとして、多くのユーザーから高評価を得ております。また、位置情報ゲームプラットフォーム「コロプラ」からは、フィーチャーフォン向け競馬シミュレーション位置ゲー「ダービーズキングの伝説」のスマートフォン版を２月に公開いたしました。いずれも高度な技術処理やゲーム内容がユーザーから高評価を得ております。

以上の結果、当第２四半期累計期間の売上高は5,628,091千円、営業利益は1,649,610千円、経常利益は1,679,598千円、四半期純利益は956,027千円となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしておりません。

（２）財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期会計期間末における流動資産は7,593,580千円となり、前事業年度末に比べ3,608,794千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加（前事業年度末比3,004,338千円増）、売掛金の増加（前事業年度末比557,617千円増）によるものであります。

また、固定資産は518,048千円となり、前事業年度末に比べ64,470千円減少いたしました。これは主に、オフィス移転に伴う前オフィスの差入保証金返還による敷金及び保証金の減少（前事業年度末比64,339千円減）によるものであります。

以上の結果、総資産は8,111,629千円となり、前事業年度末に比べ3,544,323千円増加いたしました。

（負債）

当第２四半期会計期間末における流動負債は2,358,442千円となり、前事業年度末に比べ434,911千円増加いたしました。これは主に、未払金の増加（前事業年度末比277,578千円増）によるものであります。

また、固定負債は77,286千円となり、前事業年度末に比べ574千円増加いたしました。

以上の結果、負債合計は2,435,728千円となり、前事業年度末に比べ435,486千円増加いたしました。

（純資産）

当第２四半期会計期間末における純資産は5,675,900千円となり、前事業年度末に比べ3,108,837千円増加いたしました。これは主に、第１四半期会計期間に新規上場のための公募発行増資を実施したことに伴う資本金の増加（前事業年度末比1,076,400千円増）及び資本剰余金の増加（前事業年度末比1,076,400千円増）、四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加（前事業年度末比956,027千円増）によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は4,164,388千円となりました。

当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期累計期間における営業活動による資金の増加は847,706千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益1,679,598千円を計上したものの、法人税等の支払額719,090千円、売上債権の増加額557,617千円を計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期累計期間における投資活動による資金の減少は519,117千円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出555,986千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期累計期間における財務活動による資金の増加は2,137,456千円となりました。これは、新規上場のための公募発行増資を実施したことに伴う株式の発行による収入2,137,456千円によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、当第２四半期累計期間の業績を踏まえた見直しを行いました結果、平成24年12月13日発表の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」に記載した通期業績予想を上方修正することといたしました。

なお、別途、平成25年５月１日に「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」を開示しております。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第２四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成24年10月１日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第２四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年９月30日)	当第２四半期会計期間 (平成25年３月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,448,070	5,452,408
売掛金	1,362,361	1,919,978
たな卸資産	6,044	6,877
その他	170,705	216,566
貸倒引当金	△2,395	△2,250
流動資産合計	3,984,786	7,593,580
固定資産		
有形固定資産	200,891	185,115
無形固定資産	12,148	14,577
投資その他の資産	369,478	318,355
固定資産合計	582,519	518,048
資産合計	4,567,305	8,111,629
負債の部		
流動負債		
未払金	998,049	1,275,627
未払法人税等	730,321	726,891
その他	195,159	355,923
流動負債合計	1,923,530	2,358,442
固定負債		
資産除去債務	76,711	77,286
固定負債合計	76,711	77,286
負債合計	2,000,242	2,435,728
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,379	1,582,779
資本剰余金	503,180	1,579,580
利益剰余金	1,557,503	2,513,531
株主資本合計	2,567,063	5,675,890
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	―	9
評価・換算差額等合計	―	9
純資産合計	2,567,063	5,675,900
負債純資産合計	4,567,305	8,111,629

(2)【四半期損益計算書】
【第２四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第２四半期累計期間 (自 平成24年10月１日 至 平成25年３月31日)
売上高	5,628,091
売上原価	2,986,022
売上総利益	2,642,069
販売費及び一般管理費	992,459
営業利益	1,649,610
営業外収益	
受取利息	1,116
為替差益	44,194
雑収入	20
営業外収益合計	45,330
営業外費用	
株式交付費	13,343
雑損失	2,000
営業外費用合計	15,343
経常利益	1,679,598
税引前四半期純利益	1,679,598
法人税等	723,570
四半期純利益	956,027

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第２四半期累計期間 (自 平成24年10月１日 至 平成25年３月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,679,598
減価償却費	23,148
株式交付費	13,343
為替差損益（△は益）	△46,104
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△144
受取利息及び受取配当金	△1,116
売上債権の増減額（△は増加）	△557,617
たな卸資産の増減額（△は増加）	△832
未払金の増減額（△は減少）	328,094
未払法人税等（外形標準課税）の増減額（△は減少）	△7,911
その他	136,312
小計	1,566,769
利息の受取額	26
法人税等の支払額	△719,090
営業活動によるキャッシュ・フロー	847,706
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△555,986
定期預金の払戻による収入	63,798
有形固定資産の取得による支出	△57,204
無形固定資産の取得による支出	△3,112
資産除去債務の履行による支出	△17,745
投資有価証券の取得による支出	△8,206
子会社株式の取得による支出	△5,000
敷金及び保証金の回収による収入	64,389
その他	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△519,117
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	2,137,456
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,137,456
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,412
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,471,458
現金及び現金同等物の期首残高	1,692,930
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,164,388

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

当社は、モバイルサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年12月13日付で東京証券取引所マザーズに上場し、公募増資による払込を受け、新株式780,000株の発行を行いました。

その結果、当第２四半期累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,076,400千円増加し、当第２四半期会計期間末において資本金が1,582,779千円、資本剰余金が1,579,580千円となっております。

（７）重要な後発事象

（株式分割）

当社は、平成25年５月１日開催の取締役会において、以下のとおり、株式分割することを決議いたしました。

１．株式分割の目的

株式分割することにより、当社株式の流動性を高めると共に、投資家層の更なる拡大を図ることを目的としております。

２．株式分割の割合

平成25年５月31日を基準日とし、同日の最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を１株につき５株の割合をもって分割いたします。

３．株式分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	7,892,100株
株式分割により増加する株式数	31,568,400株
株式分割後の発行済株式総数	39,460,500株
株式分割後の発行可能株式総数	150,000,000株

４．株式分割の時期

効力発生日　平成25年６月1日

５．１株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定した場合の１株当たり情報は、以下のとおりであります。

	当第２四半期累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成25年３月31日）
１株当たり四半期純利益金額	25円23銭
潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額	24円33銭

６．新株予約権行使価額の調整

株式分割の実施に伴い、当社発行の新株予約権の１株当たりの行使価額を平成25年６月１日以降、以下のとおり調整いたします。

	調整前行使価額	調整後行使価額
第１回新株予約権	780円	156円
第２回新株予約権	780円	156円
第３回新株予約権	1,400円	280円
第４回新株予約権	1,400円	280円
第５回新株予約権	1,400円	280円